

# 綾瀬市DX推進計画 <概要版>

## ■ 策定の背景と目的

近年デジタル技術が急速に発展し、いまや重要な社会インフラとなっています。また、人口減少・少子高齢化の進行などにより、地域課題や市民ニーズが複雑化・多様化しています。このような社会情勢の急激な変化に対応し、将来にわたり行政サービスを維持・向上させていくためには、デジタル技術を活用した利用者（市民）中心のサービス提供と、行政運営を変革していく、デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進が必要不可欠です。

このため本市では、本市に住み・働き・学ぶ人々と実現を目指す“まちの将来像（ビジョン）”を定め、その実現に向けた取組・施策等をまとめた「綾瀬市DX推進計画」を策定いたしました。

## ■ 基本理念・取組方針

### 基本理念

だれもが便利で簡単に、  
生き生きとした暮らしを実現

### 1. だれもが便利で簡単なデジタル化

全てのひとが、あらゆるデジタルサービスにアクセスでき、デジタル化の恩恵を受けられる「誰にも優しいデジタル化=皆で支え合うデジタル共生社会」を目指します。また、人との繋がり、対面コミュニケーションなどを重視したDXを進めます。

### 2. 市民・事業者のデジタル理解促進

職員だけでなく、市民や事業者の方々の理解を深めます。市民のお力も借りるなど、相互に補完することで、より効果的なDXを進めていきます。市民にはサービス導入による利便性の向上、事業者にはデジタル活用での生産性向上や競争力強化などをご理解いただき、全市一体となってDXを進めていきます。

### 3. 職員を課題解決型の思考に変革

職員がデジタル活用に積極的に取り組み、自ら変革を進める姿勢を持つことが、DX成功に繋がると考えています。研修や実践を通して、DX活用の重要性を理解し、職員の意識改革を進めます。特に、アジャイル型のマインドセットをもって、少しずつでもできるところから課題解決に取り組むことを目指します。

### まちづくりDX

地域経済・社会の課題解決

### 行政DX

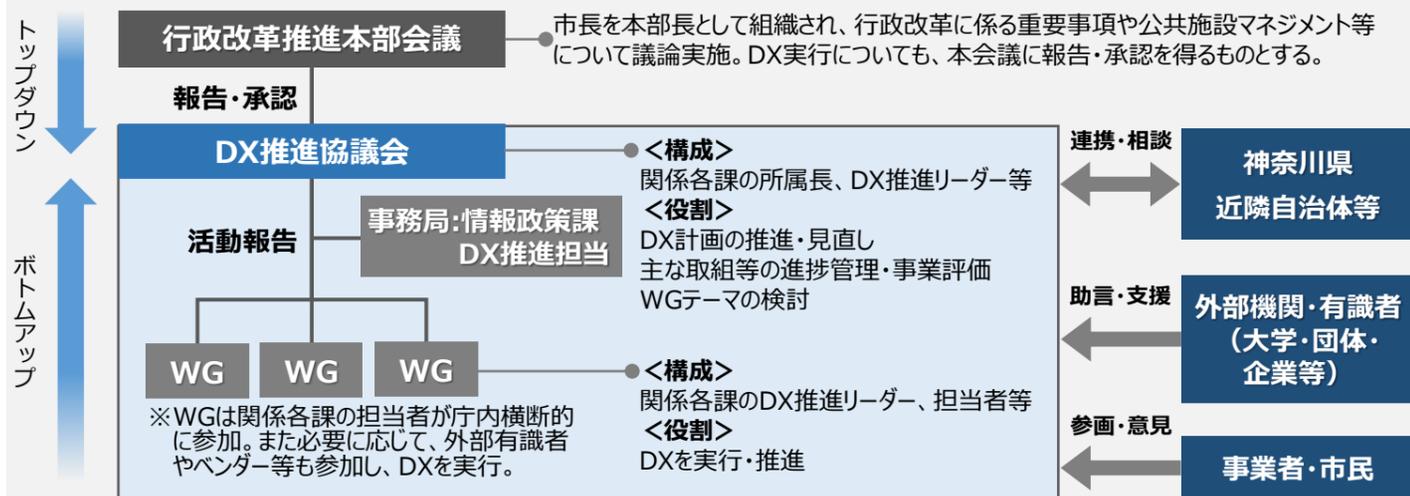
行政業務の効率化  
市民サービス利便性向上

## ■ 計画の期間・位置づけ

本計画は、令和7年度（2025）から令和11年度（2029）までの5年間を計画期間とします。なお、国や県の動向やデジタル技術の進展、社会情勢や市民ニーズの変化に応じて、必要に応じて計画の見直し・アップデートを行います。また、国や県の計画、本市の各個別計画と整合性をとりながら、本市の最上位計画である「綾瀬市総合計画2030」の各戦略プロジェクト事業を積極的に推進するための計画として位置づけます。

## ■ 推進体制

横断的に取り組むDX施策等では、関係各課の所属長等で構成されるDX推進協議会を設置し、関係各課の担当者が横断的に参加するWG活動を通して、全庁的にDXを推進します。またWGのテーマ設定や実行管理などについては、神奈川県や外部機関・有識者等のサポートを得ながら、情報政策課が主体となって取り組みます。そして、事業者や市民の参画・意見反映を行い、オープンイノベーションでの課題解決を目指します。



## ■ 取組計画・施策

本市で抽出された課題に応じて、7つの分野でそれぞれ施策とスケジュールを定めました。確実かつ柔軟に進行管理しながら、計画を実行してまいります。

No.	施策	短期		中期		
		R7	R8	R9	R10	R11
<b>①福祉・保健</b>						
1	デジタル健康・医療予防	調査研究・検討		実装		
2	子育てサポート事業のデジタル化	調査研究・検討		実装		
3	介護・障がい・子育て等の遠隔相談	継続・拡大				
<b>②安全・安心</b>						
1	迷わない情報収集・避難行動	調査研究・検討	実装			
2	被災者支援・管理	調査研究・検討		実装		
3	防犯灯の一元管理	実装				
<b>③都市づくり</b>						
1	デマンド交通の運行	実証		実装		
2	公開型GISの利用拡大	実装				
3	道路台帳のデジタル化	実装				
4	コミュニティバスのキャッシュレス化	調査研究・検討		実装		
5	道路補修・整備業務のデジタル活用	調査研究・検討		実装		

読み方：ディーエックス  
正式名称：デジタル・トランスフォーメーション

# DX

### 手段

**D**  
データやデジタル技術を活用して

### 対象

市民サービスや行政業務を

### 目的

**X**  
よりよい方向へ変化させること

No.	施策	短期		中期		
		R7	R8	R9	R10	R11
<b>④産業振興</b>						
1	事業者向けDX研修	実施				
2	農商工特化型の魅力発信・マッチング・販売	調査研究・検討		実装		
<b>⑤教育・文化</b>						
1	児童・生徒の多様な学び方創出	実装				
2	校務DXで教職員の働き方見直し	実施				
3	学校現場でのICT機器利活用の拡充	調査研究・検討		実装		
4	図書館におけるICタグ等の活用	調査研究・検討				
<b>⑥環境・自治</b>						
1	デジタル回覧板で地域コミュニティ支援	調査研究・検討	実装			
<b>⑦行政</b>						
1	文書作成等への生成AI活用	実装				
2	個人に即した情報配信	実装				
3	自動応答やテキスト化での電話対応	調査研究・検討	実装			
4	FAQ/チャットボットの整備	調査研究・検討		実装		
5	仮想空間市役所の整備	調査研究・検討・実証				

## ■ 人材育成

DX推進においては、個人のスキルアップに加えて、組織全体で協力して取り組むことが肝要です。そのため本市では、「個人」と「組織」の二軸で人材育成を進めます。個人に対しては、セミナーやeラーニング等で、知識・スキルの向上、マインド変革を促します。組織に対しては、ワークショップ等で、協働性の向上や相互理解を促します。これにより、経営層・管理職層・担当者層、それぞれがDX推進人材として成長し、各々が考え・教えあい・行動に移せるようになることで、自律的なDX推進を目指します。



## ■ デジタルデバイド対策

「誰一人取り残されない」デジタル社会の実現に向けて、利用者目線できめ細かく対応していくことにより、誰もが、いつでも、どこでも、デジタル化の恩恵を享受できるようにすることを目指します。デジタル機器・サービスに慣れていない方のみならず、これらを利用しない方も含め、デジタル化による迅速かつ円滑な行政サービスの提供を始め、あらゆる人が恩恵を享受できる環境を整備します。

本市では、行政サービスの提供において多様な方々が利用することを想定したサービスデザインを採用し、高齢者、障がいのある方、外国人等のアクセシビリティ確保のために、実生活に基づいたデジタル教室を開催します。また現在はデジタル機器を持たない方や不慣れな方の来庁時に、その場でタブレットを活用した電子申請のサポートをしていますが、このような方々へのより効果的な支援を検討してまいります。



# AYASE CITY

Vision Map

だれもが便利で簡単に、生き生きとした暮らしを実現

1 福祉・保健  
子どもから高齢者まで元気なまち

2 安全・安心  
防災・防犯情報で災害に強い  
安心なまち

4 産業振興  
農商工事業者が生き生きと、  
綾瀬の魅力発見・発信されるまち

6 環境・自治  
みんなで支える快適なまち

3 都市づくり  
多彩な地図情報で都市を見る化、  
自由な移動で快適な生活を支えるまち

5 教育・文化  
児童・生徒も先生もともにつながる  
学べるまち

7 行政  
市民も職員もデータ活用で便利なまち

GIS

5 公開型GISの利用拡大

8 児童・生徒の多様な学び方創出

4 デマンド交通の運行

2 迷わない情報収集・避難行動

3 被災者支援・管理

10 自動応答やテキスト化  
での電話応答

7 農商工特化型の  
魅力発信・マッチング・販売

9 デジタル回覧板で  
地域コミュニティ支援

11 FAQ/チャットボットの整備

1 デジタル健康・医療予防

6 事業者向けDX研修